

「アジア競技大会・アジアパラ競技大会を活用した地域活性化ビジョン」ロードマップ<概要版>

2026年のアジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催に向けて、両大会を契機に本県として取り組むべき地域活性化の方向性を示すものとして、「アジア競技大会・アジアパラ競技大会を活用した地域活性化ビジョン」（2019年3月に策定（2023年3月改訂））に基づき、「アジア・アジアパラ競技大会に関する懇談会」からの提言を踏まえ、大会前、大会期間中、大会後に実施する各取組の工程を整理した。

策定のポイント

ビジョンで定める5つの目標の実現に向けて、大会を契機として実施すべき取組について追加や見直しを行うとともに、ビジョンに基づき実施している取組は、引き続き事業を実施しながら、大会開催の機を捉えてさらに発展し、事業効果を高めていけるよう実施計画を工夫した。

<ロードマップの構成>

ビジョンに定める5つの目標と基本施策	実現に向けた展開イメージ		
	大会前 (2025年度)	大会期間中 (2026年度)	大会後 (2027年度～2030年度)
目標1 スポーツで愛知をブランディングする【スポーツ・健康】 1-1. トップアスリートの育成・輩出 1-2. スポーツの振興 1-3. スポーツ大会等の招致 1-4. アジアのスポーツ振興への貢献	トップアスリートの育成、大会に向けた機運の醸成 (例) 国際大会で活躍できる地元選手の育成 大会出場選手の紹介や地元スポーツ情報の発信	指導者やサポート人材の活躍、大会の情報発信 (例) 大会におけるサポート人材の活躍支援 会場所在自治体と連携した大会PR	新たなスポーツ大会の招致、地域のスポーツ振興 (例) 大会開催実績を活かした大会招致 大会開催施設の活用促進
目標2 多くの来訪者で賑わう愛知をつくる【観光・文化】 2-1. 愛知を中心とした観光交流拠点の形成 2-2. スポーツ・文化等のコンテンツの充実 2-3. 受入環境の整備、おもてなしの充実	観光プロモーションやコンテンツの充実 (例) 放送事業者・報道関係者等へのエクスクーショ ハラル等の対応店舗のマップ化	大会来場者へ愛知の魅力発信 (例) 様々な魅力を発信する文化プログラムの実施 なごやめしなど食文化の体験	大会による知名度向上を活かした誘客促進 (例) MICEの誘致 ムスリム旅行者の誘客
目標3 アジアにおける愛知の産業の存在感を強める【地域経済・産業】 3-1. アジアやスポーツ課題に対応する技術開発の促進 3-2. 「Made in AICHI」のブランド力強化と販路拡大 3-3. アジアからの人材の活躍促進	Made in AICHIのブランド力強化 (例) AXIA EXPOでの「アジアパビリオン」の設置 農林水産物の輸出促進に向けたオンライン商談会の開催	大会来場者へ産業技術や農林水産物のPR (例) スポーツイノベーションプロジェクトの成果発信 大会会場の装飾による花きのPR	アジア地域との交流促進や販路拡大 (例) アジア企業との交流促進 大会による知名度向上を活かした農林水産物の輸出促進
目標4 アジアと愛知の次世代を育む【人材育成・国際交流】 4-1. ボランティアの育成 4-2. アジアとの交流の活発化 4-3. グローバル人材の育成	ボランティアの募集・育成、異文化理解の促進 (例) 大会ボランティアの募集や育成 アジア・フレンドシップ推進事業の実施	ボランティアの活躍促進、国際交流の促進 (例) 大会ボランティアの活躍促進 大会運営への学校生徒の協力	ボランティアの継続的な活躍促進、 国際交流の活発化 (例) 大会ボランティアの継続的な活動に向けた場づくり 大会を契機としたアジア地域との交流の継続
目標5 すべての人が活躍できる愛知をつくる【共生社会・ユニバーサルデザイン】 5-1. 共生社会の実現 5-2. ユニバーサルデザイン環境の整備・充実 5-3. パラスポーツの推進	共生社会に向けた啓発やユニバーサルデザインの推進 (例) 競技会場や宿泊施設のバリアフリー化 大会やアジア地域の文化等の学習(小中高)	パラ大会を通じた障害者に対する理解促進 (例) 特別支援学校と近隣小中高との交流促進 バリアフリー&おもてなしマップの活用	パラスポーツの推進や障害者の活躍促進 (例) パラアスリートのイベントへの参加 あいちパラスポーツサポーターの活躍支援